



屋鋪 要
「元プロ野球選手」

森には普段とは違う
気持ちよさがある

私は大阪出身ですが小学校二年生のときに兵庫県川西市へ引っ越ししました。そこは近くに森があつて、当時昆虫に夢中だったので森へ入ってはどの木のどのポイントにカブトムシやクワガタがいるかなんていうのを調べていました。何年かしてまた森へ行ってみたらその木がなくなつていてがっかりしたりもしましたよ。

小学校を卒業してから寮生活でしたが、そこでも森のある環境で育ちました。今も趣味である蒸気機関車を求めて全国を旅するなかで頻繁に森に出会います。たいてい機関車が保管されている場所が田舎のほうなので。例えば、昨年の夏、森林浴発祥の地といわれる長野県の赤沢自然休養林に行つて、機関車の魅力を堪能しました。自然の中を走る機関車に乗るのも好きで、山口線や大井川鐵道などの車窓から見る風景は大好きですね。

都会育ちなので森に入ると感覚が違つてきます。もともとあんまりストレスは抱えない人間なのですが、それでも森の中で緑や川を見ると普段とはまったく違う気持ちよさを感じます。

旅にはたいてい車で出かけますが、環境に対する個人的な取組として必ずアイドリングストップをするように心がけています。でも自分自身ごと

のように森林保全などに生活の中から関わつていけるかは今後の課題ですね。

現役を引退した今はプロ野球オフシーズンに開催されるマスターズリーグに出場しています。マスターズリーグは二〇〇五年七月から京都議定書の目標達成のため、林野庁への「木づかい運動」イメージキャラクターにもなっているんですよ。プロ野球で使う木製バットはアオダモの木から作られますがこの木は材木になるまで八〇年かかると言われています。国産材の利用という観点から野球を通して貢献できればと思いますし、今後はアオダモなどの植樹や森林ボランティアにもぜひ参加していきたいと思つています。なかなか自分からそういった活動に出ていく機会がないので必要なときにはぜひ声をかけていただきたいと思います。

プロフィール
屋鋪 要(やしき かなめ)
1959年生まれ、大阪府出身。1978年、三田学園高校からドラフト6位で横浜大洋ホエールズ(現横浜ベイスターズ)に入団。快足堅守の選手として、プロ野球を代表する選手となる。1994年に東京読売ジャイアンツに移籍し、1995年に現役を引退。その後、巨人軍のコーチを4年務め、現在は野球解説者として活躍しながら、マスターズリーグの東京ドリームスに所属し、選手としても活躍中。

Kaname Yashiki